

「GIGAスクール構想」とは…

# GIGA (Global and Innovation Gateway for All)

の略で、児童生徒のために、1人1台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する計画です。

このように活用しています



画面に表示された行程を確認しながら実験を進める



ノートの内容を電子黒板に映し発表をする



英語のスピーチをクラスメイトに動画で撮影してもらい、動画を見て自分で発音等を確認する



☎ 問 教育課総務班  
(84) 4116

災害時や感染症発生時における臨時休校の際には、児童生徒の学びを保障するため、インターネットを活用したオンラインでの在宅学習(タブレット端末の持ち帰り)にも備え、現在、各校で家庭との通信テストを計画的に進めています。

現在、町内小中学校では、積極的に電子黒板やタブレット端末などのICT機器を活用した授業が展開されています。また、授業だけでなく朝の会や帰りの会などの特別活動でも用いられ、各校で研究・検証を重ね、よりよい活用方法を模索しています。

これによりタブレット端末を使用し、先生やクラスメイトと意見を交換したり、これまでコンピュータ室で行っていたインターネット等を活用した学習が自席ですぐにできるようになり、調べ学習や視聴覚教材の閲覧がより便利になりました。

**国**が掲げる「GIGAスクール構想」のもと、当町でも1人につき1台のタブレット端末や高速大容量通信に対応した校内通信ネットワーク、各教室へのWi-Fi環境を一体的に整備しました。

子どもたちと先生の声



ノートを撮影し、その情報をタブレット上で共有して友達の考えも手元で見られるようになった

班活動でタブレットを使うと、誰がどういう考えなのかすぐわかる

タブレットで写真を使い手順を示すことで、各班の進度で失敗せずに理科の実験を行うことができるようになった

授業でパワーポイントを見る際に、必要なところを自分のペースで見ることができるので理解度が深まった

